

競技上の確認事項

1. 本大会は令和5年度公益財団法人日本バレーボール協会6人制競技規則、及び競技要項により行う。
(ネットの高さは、男子2.43m、女子2.24mとする。)
2. 大会使用球は、公益財団法人日本バレーボール協会検定5号球を使用する。
※男女ともにミカサ製(MVA300)を使用する。
3. 試合はすべて3セットマッチとする。
全試合21点先取とする。ただし3セット目は15点までとし、15点先取とする。
4. 予選リーグの順位は、①勝率、②セット率、③ポイント率の順で順位を決定する。
対象の2チームが全て同じ場合は、抽選とする。
5. 試合開始時刻は第1試合のみ設定し、第2試合目以降については設定しない。(追い込み方式)、
前の試合終了から10分間の合同練習後、公式練習は行わずに試合を開始する。
合同練習についてはボールを使用しても良いが、両チームの安全及び、隣接コートでの試合運営に影響を与えないように十分配慮すること。
また試合の進行状況により、同一会場内でのコートの変更を当該チームに依頼することもある。
6. 1チームの構成は、部長・監督・コーチ・マネージャーと選手18名の計22名以内とし、選手については
試合ごとに最大限14名(リベロを除く正規の競技者は最大12名)をエントリーするものとするが、学校
単独チームにならないようにすること。
リベロはチームの他の選手と主要な部分の色が異なるユニフォームを着用しなければならない。
尚、本大会においてリベロはジャケット、ビブスの着用を認める。
ベンチスタッフ(部長、監督、コーチ、マネージャー)については各章をつけること。
また、チーム役員の服装は統一されたものを着用することが好ましい。
ただしTシャツ等の襟のないものや、短パン、ハーフパンツ、スリッパ等は許可されない。
7. 各試合の「エントリー」用紙は、第1試合のチームは試合開始前までに、
第2試合以降のチームは、前の試合の1セット終了までに本部まで提出すること。
8. ラインアップシートは、公式ウォームアップ(合同練習)時に「2ndレフリー」に提出すること。
9. 表彰は、優勝、準優勝チームを表彰する。表彰式は決勝戦終了後にコート表彰を行う。
10. 昼食時間については、特に設定はしない。